

老年・高血圧内科

1. スタッフ

科長（兼）教授 楽木 宏実
 その他、教授3名、准教授1名、講師2名、助教8名、
 医員14名、病棟事務補佐員1名
 （兼任を含む。また、教授、准教授、助教は特任、寄附講座を含む。）

2. 診療内容

(1) 診療内容の概要

高齢者の生活習慣病（糖尿病など）や循環器疾患（末梢動脈疾患含む）、老年症候群（転倒・眩暈・ふらつき・認知症）、睡眠呼吸障害及び高血圧の診療を主に担当している。

(2) 診療上の特徴、特色

- 当科での診療上、特に力を入れているのは、
- 1) 3泊4日の“もの忘れパス”
 （認知症パス、2～3名／週）
 - 2) 高齢者総合機能評価による高齢者外科手術前評価（入院・外来）
 - 3) 高血圧教育入院（1週間パス）
 - 4) 難治性高血圧、二次性高血圧の診断・治療
 - 5) 末梢動脈疾患とその症状に対する加療
 - 6) 総合診療科からの入院精査・加療

であるが、臓器にとらわれない全人医療がモットーである。高齢入院患者には全例、高齢者総合機能(CGA)、筋量・筋力・バランス機能測定を施行し、QOL や ADL、また入院した時点から退院後の支援体制を考慮に入れた診療を実施している。

3. 診療体制

(1) 外来診察スケジュール

外来診察スケジュールを表1に示す。担当医師全員が老年医療に精通し、さらに高血圧・循環器・糖尿病・認知症・末梢動脈疾患などのサブスペシャリティを有している。また“難治性高血圧専門外来”や認知症を扱う“もの忘れ外来”に加え、“睡眠時無呼吸外来”“高齢者糖尿病外来”“ふらつき外来”も行っている。

(2) 病棟体制

病棟の週間スケジュールを表2に示す。病床数は15床（東8階病棟）と共に病床5床（東3階病棟）、初期臨床研修医1～3名、シニアライター（主治医）4名、ライター長3名の指導体制を実施。さらに本院において、①高齢者外科手術前CGA評価：5～10名／週の体制で実施。頸部・心臓・腎臓エコーについては、検査日以外もポータブル超音波を用いて24時間対応を実施している。

老年症候群（転倒・ふらつき）に対する取り組みと

して、65歳以上全員に筋量、筋力、バランス機能検査を施行、毎週火曜日午前に「転倒予防講座」を実施、また一部に下腿筋エコー検査を実施。

(3) 外来検査スケジュール

動脈硬化検査（PWV：pulse wave velocity、内皮機能）、腎血流ドプラ・心臓エコー検査などを外来でも実施し、老年病診療や高血圧診療に応用している。

表1 外来診察スケジュール（内科1階外来）

	午前	午後
月	高血圧・老年病	高血圧・老年病・もの忘れ・認知症
火	高血圧・老年病・末梢動脈疾患	高血圧・老年病・高齢者糖尿病・もの忘れ・認知症
水	高血圧・老年病	高血圧（含難治性）・老年病・睡眠時無呼吸
木	高血圧・老年病（ふらつき） 高齢者糖尿病	高血圧・老年病・末梢動脈疾患・睡眠時無呼吸・もの忘れ・認知症
金	高血圧・老年病	高齢者糖尿病

表2 病棟スケジュール

月	9時～ 頸動脈エコー
	13時30分～ 症例検討会・科長回診
	15時～ 医局会・レクチャー・研究発表
火	9時～ 頸動脈エコー・腹部エコー
	10時30分～ 転倒予防講座
	14時～ 遺伝子治療グループ回診
水	9時～ 腎血流エコー
	14時30分～ 認知症グループ回診 老年代謝・糖尿病グループ回診
	15時～ 高血圧/総合診療科回診
木	10時～ 24時間血圧測定 14時～ 高血圧教室

4. 診療実績

(1) 治療・検査実績

1) 外来

高齢者総合機能評価：300件、24時間血圧測定&ホルター心電図：150件、腎血流エコー検査：40件、筋量・筋力検査：100件を実施。

2) 病棟

高齢者総合機能評価：200件、心エコー検査：120件、腎血流エコー検査：100件、24時間血圧測定：50件、簡易睡眠検査：20件、睡眠時無呼吸検査：10件、筋量・筋力検査：100件を実施。

(2) 外来診療実績

外来平均患者数とその内訳を表3に示す。

(3) 入院診療実績

主要疾患入院患者数を表4に示す。

(4) 入院診療における教育実績

症例検討数：35件、剖検数：0件

学会症例報告：6例

表3 主要疾患外来患者内訳（1,400症例／月）

主要疾患名	割合 (小数点以下 切り上げ)
高血圧（含 二次性高血圧）	30%
認知症	28%
糖尿病	15%
呼吸器疾患（含 睡眠呼吸障害）	6%
自己免疫性疾患（PMR、SLEなど）	5%
脳血管障害	4%
内分泌疾患（副腎、甲状腺、副甲状腺疾患など）	3%
末梢動脈疾患	3%
慢性腎臓病	3%
不明熱	3%
その他の疾患	6%

表4 主要疾患入院患者数（320症例／年）

臓器別 以外の 老年病	老年症候群（異常体重減少、ふらつき、転倒、 不明熱、全身倦怠感など）	47
	アルツハイマー型認知症	126
	脳血管型認知症	15
	レビー小体型・その他の認知症	20
	うつ病など	10
循環器	高血圧症 二次性高血圧（原発性アルドステロン症、 褐色細胞種、腎血管性高血圧など）を含む	41
	低血圧症、失神精査	14
	心疾患（心不全・虚血性心疾患・弁膜症・ 心筋症・不整脈）	15
	閉塞性動脈硬化症・バージャー病 うち intervention・手術症例	2 0
内分泌 ・ 代謝	脳血管障害（脳梗塞・脳出血など）	5
	糖尿病	46
	副腎腫瘍	18
腎	甲状腺・副甲状腺疾患など	5
	腎機能障害・腎不全・ネフローゼなど	7
呼吸器	肺炎（誤嚥性肺炎を含む）・間質性肺炎・COPDなど	11
消化器	胃潰瘍・慢性肝炎・自己免疫性肝炎など	5
その他	悪性腫瘍（消化器・呼吸器・血液など）、 筋萎縮性側索硬化症など	12

※包括評価に相当する入院主病名で分類したが、高齢者の場合は複合疾患による入院が多い。

5. その他

(1) 先進医療状況

現在はなし。

(2) 倫理審査委員会申請中の臨床研究

ヒトゲノム研究：「電子血圧計を用いた客観的な高血圧治療に関する多施設前向き無作為研究（HOMED-BP）における遺伝子解析」（承認番号 578）、「高血圧及び関連合併症における疾患感受性遺伝子の解析」（承認番号：503）、

「関西健康長寿研究」（承認番号 266）、原発性アルドステロン症遺伝素因の解明（承認番号 295）

自主臨床研究：高齢者の認知機能と生活機能に与える因子の追跡調査（承認番号 13320）、高齢者の薬物治療の安全性に関する研究（承認番号 13373）、適切な医療を目指した軽度認知障害等の患者の情報登録及び連携に関する研究（ORANGE-MCI 研究）（15560-2）、高齢癌術後増悪因子であるフレイルへの術前介入の有用性の検討（ランダム化比較試験）（承認番号 16124）、フレイル高齢者の全国的な情報登録・連携システムに関する研究（承認番号 16300）、慢性心不全合併糖尿病患者における心機能に及ぼすイプラグリフロジン L-プロリンの影響に関する無作為化群間比較試験（EXCEED）（承認番号 N18013）、認知・ADL-7 の妥当性検証（承認番号 16430）、高齢糖尿病患者に対する食後高血糖改善がフレイル・サルコペニアの進展に及ぼす影響の多面的検討（承認番号 N18015）高齢者の認知機能低下に配慮した最適な降圧療法の解明：高齢高血圧患者を対象とした認知機能保持ないしその改善を最終目的とした血圧管理法に関する研究（承認番号 18109-2）、認知症者のケアラーにおける介護負担度に影響を与える関連因子の包括的検討（承認番号 18176）、身体的フレイルを伴う糖尿病患者に対する NMN の効果（承認番号 S18027）、高齢閉塞性睡眠時無呼吸患者に対する有効な口腔筋機能療法の検討（承認番号 N18052）、難治性副腎疾患の診療に直結するエビデンス創出（JRAS）（承認番号 N18123）

(3) 学会による施設認定状況

日本内科学会認定医制度、日本老年医学会認定老年病専門医制度、日本高血圧学会認定高血圧専門医制度、日本循環器学会認定循環器専門医制度認定施設、日本糖尿病学会認定教育施設 II、日本感染症学会認定研修施設、日本病院総合診療医学会認定施設

(4) 専門医・認定医数、指導医数

総合内科専門医	9名
内科認定医	25名（うち指導医 9名）
老年病専門医	10名（うち指導医 6名）
高血圧専門医	7名（うち指導医 6名）
循環器専門医	5名 麻酔科標榜医 1名
認知症専門医	3名 日本透析医学会専門医 1名
糖尿病専門医	2名 プライマリケア認定医 7名
内分泌専門医	1名 抗加齢医学専門医 1名
腎臓専門医	2名 認定産業医 5名
感染症学会専門医	1名 旅行医学認定医 1名